

令和5年度

教育目標及び教育計画とその評価

学校法人マリア学園

暁の星幼稚園

電話 0267-22-0693

FAX 0267-46-9415

<http://www.akenohoshi.org/>

令和5年度「幼稚園 学校評価」結果公表シート

学校法人マリア学園
暁の星幼稚園

令和5年度の学校評価（幼稚園）として、教職員の自己評価及び、学校関係者評価を行いました。教職員一人一人が自己を見つめ直し、それぞれの評価結果について話し合い、その成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることが出来ました。この結果を今後の指針とし、更なる教育活動の充実、環境の整備、皮質向上に努めて参ります。

1、暁の星幼稚園の教育基本方針

（1） 教育理念

「わたしがあなたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」（ヨハネの福音書13章34節）と語られるキリストのみことばに、人間としてのふさわしいあり方を見、その実現のために教育を行うことである。

（2） 教育目標

神と人に愛され、神と人を愛する子ども

（3） 教育方針

「神を、隣人を、自分を、そして自然界を大切にする愛の心を育てる」

○神と人と自然を大切にする子ども。

○思いやりと感謝の心を持つ子ども。

○一人ひとりの違いを受け入れ、仲よく助け合う子ども。

○感性豊かで創造性のある子ども。

○元気に最後までやり抜く子ども。

○善いこと悪いことを神さまの価値観に基づいて考え、悪いことを避け、善い行いの出来る子ども

を、望ましい子どもの姿とし、日々のかかわりを通して目標達成に努める。

2. 教育のねらい及び内容の組織

《教育課程資料》

期	I 期 (4月～5月)
主題	すべては神によって創られた 感性が豊かで創造性のある子
3 歳	☆保育者や年長児の助けを得ながら、幼稚園生活の過ごし方を知る。 ☆愛されている体験を通して心が安定する。 ☆後片付けを学び生活に秩序性を持たせる。 ☆他人と一緒に生活に気づく。 ☆戸外や室内で好きな遊びを楽しむ。 ☆身近な自然に触れ、季節の美しさを味わう。 ☆手を合わせて祈ることを知る。 *未満児については、必要に応じてこれに準ずる。
4 歳	☆進級して大きくなったことを励みとし、身の回りの世話を一層進んでやり、落ち着いて生活ができる。 ☆新しいクラスや保育者に慣れ、自分の生活を楽しめるようにする。 ☆あいさつや返事ができるようになる。 ☆戸外での遊びをじゅうぶん楽しむ。 ☆遊具や場の使い方が上手になり、安全を心掛けて遊べるようになる。 ☆神の創造になる美しい自然に感動し、その恵みを感謝して、物を大事に扱う。
5 歳	☆年中・年少児をいたわり、親切にする。 ☆年長児の生活のリズムを感じる。 ☆年長になった喜びを味わう中で、活動や遊びに積極的に取り組む。 ☆日常生活の基本的活動のほとんどができるようになる。 ☆何をするにも集中力を傾けることができる。 ☆五感のより一層の洗練を目指す。 ☆動植物の世話をする。身近な生き物と触れ合って遊ぶ。 ☆お互いに助け合い協力し合うことの楽しさを知る。 ☆自然の美しさをより深く味わい、創造主に感謝する。

《教育課程資料》

期	Ⅱ期（6月～7月）
主題	神は天地万物を常に保ち、司っておられる。 元気に最後までやり抜く子。
3歳	<p>☆幼稚園生活に親しみを感じ、喜んで登園する。</p> <p>☆園生活にはルールがあることを知る。</p> <p>☆自分や自分の周りの生活をできるだけ自分でやろうとする。</p> <p>☆クラスの仲間の存在に気づき、友だちと関わり合いながら、衝突したり、対立したりを繰り返し、また好きな友だちと一緒に楽しんだり、異年齢の子どもたちと関わったりする中で、経験の場を広げていく。</p> <p>☆体の動かし方を様々経験する。特に手作業の楽しみを知る。</p> <p>☆五感の訓練を始める。水や砂遊びを十分楽しむ。</p> <p>☆やさしい聖母マリアを通して神の御子イエスの存在を知る。</p>
4歳	<p>☆他の子どもたちとの関わりを保ちながら、開放的な雰囲気の中でルールを守り、ゆったりした集団生活を送る。</p> <p>☆水や砂遊びを十分楽しむ。</p> <p>☆規則正しい生活を心掛け、健康な日々を過ごす習慣を身につける。</p> <p>☆クラスにおける役割を積極的に果たし、自立と強調の心を養う。</p> <p>☆自ら選んだ遊びに意欲的に取り組み、最後までやり抜く。</p> <p>☆神はすべての人の幸せを願い、いつも守っていてくださることと、聖母マリアも見守ってくださることを知り、感謝する。</p> <p>☆友だちと遊ぶ中で、自分の思いや感じたことを、体や言葉で伝える。</p> <p>☆仲間を誘い、新しい遊びを展開できるようにする。</p>
5歳	<p>☆友だちと関わる中でも、主体性を失わず、自分のやることにおいては集中してやることができる。</p> <p>☆自分の身の回りのことはきちんと行い、年下の子どもたちとの関わりにおいては、年長児らしい自信と思いやりをもって接する。</p> <p>☆身近な自然や社会事象に感動、疑問を抱いた場合には、積極的に解決を求めて探求する。</p> <p>☆文字や数量に対する関心をよりいっそう深める。</p> <p>☆立ち居振る舞いに落ち着きと気品が感じられるようになる。</p> <p>☆友だちと遊びを考えて好きな遊びをする。誘い合って遊ぶ。</p> <p>☆神がいつも守っていてくださること、また聖母の見守りに感謝する。</p> <p>☆表現することを楽しむ。</p>

《教育課程資料》

期	Ⅲ期（8月～12月）
主題	神は私たちを限りなく愛しておられる 明るくおもいやりのある子
3歳	<p>☆活動的な遊びの楽しさを味わい、集団生活への適応の初歩を体験する。</p> <p>☆年長・年中児から教わったりして、動植物の世話を自分でやる。</p> <p>☆作ったり、描いたりをいろいろな素材に出会いながら体験して、表現する楽しさを実感する。</p> <p>☆体を動かすことが楽しいと実感する。</p> <p>☆友だちと関わりを持って遊べる。</p> <p>☆季節の移り変わりに気づいて感動し、自然との触れ合いを喜ぶ。</p> <p>☆自分の身の回りのことで、自分ができることを増やしていく。</p> <p>☆クリスマスを楽しく迎え、貧しい人のために何かをしてあげる気持ちを持つ。</p> <p>☆心の花束を大きくし捧げる。</p>
4歳	<p>☆自分や自分の身の回りの世話に自信を持って取り組み、落ち着いて生活する。</p> <p>☆いろいろな遊びに積極的に取り組み、また工夫する楽しさを味わう。</p> <p>☆季節の自然に触れ、また身の周りの動植物に親しみを増し、世話をしたりして自然の生命の不思議さと素晴らしさに感動し、遊びの中にも取り入れる。</p> <p>☆見たこと、感じたこと、考えたことなどを率直にのびのびと表現できる。</p> <p>☆読むことの楽しさを味わう。</p> <p>☆遊びや生活のルールを、自ら守るようにする。</p> <p>☆集団で取り組む活動に参加し、自然を表現する楽しさを味わう。</p> <p>☆遊びを通して友だちとのつながりが深まり、一緒に考えながら進めていく。</p> <p>☆クリスマスを通して神の愛を知り、思いやりの大切なことを学ぶ。</p> <p>☆心の花束を大きくし捧げる。</p>
5歳	<p>☆種々の運動に積極的に取り組み、バランスの取れた心と体を作る。</p> <p>☆集団生活においても自分の意見を述べるができると同時に、他人の意見をも聞き、協調することができる。</p> <p>☆季節の自然と触れ合いを通して、その素晴らしさに感動し、感謝する。</p> <p>☆社会事象にも関心を持ち、特に世界の平和の大切さを理解する。</p> <p>☆友だちの思いや考え、気持ちを受入れながら遊ぶ。</p> <p>☆自然物を使って工夫して遊ぶ。</p> <p>☆たくさんの友だちと場を共有して遊ぶ。</p> <p>☆クリスマスを通じて他人を大切にすることを、行動を持って示すことができる。</p> <p>☆心の花束を大きくし捧げる。</p>

《教育課程資料》

期	Ⅳ期（1月～3月）
主題	人間は神の似姿として作られた。 主体性のある子ども。
3歳	<ul style="list-style-type: none"> ☆お手伝いを喜んでするようにする。 ☆行動にもまとまりが見られ、ルールを尊重する。 ☆生活の広がりの中で、自分でできることが増え、良い生活習慣が身についたことを喜び、自立心の芽生えが見られる。 ☆他人の話に耳を傾け、自分の考えを相手に伝えることができる。 ☆友だちと影響し合い、生活習慣を確かなものにする。 ☆言葉に関心を持ち、より豊かにしていく。 ☆年中への進級の期待と自覚を持ち、これまでの成長を神と親、周りの人たちに感謝する。
4歳	<ul style="list-style-type: none"> ☆一人一人が自分の持っている能力を自分なりに発揮し、作り出したり、表現したりすることの楽しさを味わう。 ☆自分でできることは自分でやれるようにする。 ☆他人への思いやりが行動に表れる。 ☆様々な表現活動（製作・楽器演奏など）を楽しむ。 ☆季節の自然事象に興味を示し、遊びを通してその楽しさを味わい、四季を通しての神の御摂理のありがたさを知る。 ☆年長になることの喜びと期待を感じ、自分たちの生活に目的を持つ。
5歳	<ul style="list-style-type: none"> ☆生活が活動に見通しがつくようになり、自分らしさを出し、計画的に行動する。 ☆文字に対する興味が高まり、言葉遊びなどを通して言語活動が豊かになる。 ☆数や量に関心を持ち、大きな数に興味を示す。 ☆他人と協力していくために、自己抑制ができるようになる。 ☆主体的に活動に取り組むことによって、得意の分野が明らかになってくる。 ☆自己の目標を選び、それに挑戦して行く向上心が見られる。 ☆人に頼らず、解決するための努力を惜しまない。 ☆友だちと共通の課題に取り組み、自分たちで遊びや生活の仕方を工夫するようになる。 ☆小学生になることへの期待のうちに、修了に伴う行事を楽しむ。 ☆神と人、自然を大切に作る心が育つ。

3、本年度に取り組む重点目標及び計画

(1) 保育の充実に関する事項

カトリック幼稚園として大切に神とのかかわりを大切にしていく。

① 宗教教育の充実

- ・ 年間宗教指導計画に沿って、日々の保育の中で神の愛を伝え、発見出来るよう努める。
- ・ 月々の祈りや日々の祈りを通して、神との対話を知り、実践していく。
- ・ 宗教指導主事による聖話を保護者へも伝え、共通意識をもつ。

② 食育の充実

- ・ ミールケアさんの給食を通し、家庭の味から他者による食事への移行を図り、食に関する知識と食を選択する力を習得する。好き嫌いをなくし、何でも食べられるようにしていく。
- ・ いろいろな野菜栽培をし、収穫の喜びと自分達で育てた野菜を食する喜びを味わい、食に対する興味関心を養う。
- ・ アレルギー対応の給食や放射能汚染野菜についても知識を持つ。
- ・ 食育年間計画に沿って様々な経験をし、健全な食生活を実践するように取り組む。

③ 障害児の理解と支援

- ・ 発達障害に関する研修会に参加し、個々の障害に対する理解を深め、保護者との連携を密にとりながら、適切な支援を行っていく。
- ・ 一人ひとりが大切な存在であることを伝え、キリストの愛に倣い、カトリック教育の大切さを共有する。
- ・ 成長の記録を保護者に配布し、家庭との連携を密にとり、よりよい育ちを目指す。

④ 日々の読み聞かせや絵本の貸し出しを勧め、読書の大切さを伝える。

- ・ 読み聞かせや素話を興味を持って、静かに聞けるようにしていく。

(2) 地域社会とのつながりに関する事項

- ・ 子育て支援「エンゼル教室」(未就園児とその親)を年 18 回開催し、幼稚園理解と入園に繋がるよう継続と充実。*感染対策し実施
- ・ 地域行事(お人形さんめぐり、市民祭)に参加し、親睦と文化交流を図る。*作品参加
- ・ 安全な遊び場所として園を開放し、地域の方々に利用して貰う。*感染対策し実施
- ・ 小中高生の受け入れ交流。*コロナ禍により中止
- ・ バザーを行い、収益を得ると共に親睦を深める。*コロナ禍により中止

(3) 園の健全な経営のために

職員の資質向上をめざし、各種研修に積極的に参加し、学びを深め実践に努める。

- ・ ホームページの充実。
- ・ 支出節減の取り組み強化として、節電、節水、リサイクル利用の心掛け。

(4) 園舎及び子どもたちの安全に対する取組

- ・ 遊具の安全点検、非構造部材の安全対策、避難訓練を行い子どもたちを安全に守る。
- ・ 防災ずきんの導入(全園児)を行い、避難時に備える。
- ・ 避難引き渡し訓練を行い、非常時に備える。
- ・

(5) 学校評価に関する取り組み

自己評価、学校関係者評価を行い、自己および園全体の見直しをする。

学校関係者（保護者）評価

保育参観日の他にいつでも普段の保育の様子を保護者に自由に観ていただき、アンケート調査を行いました。

幼稚園要覧及び教育内容、保育計画、研修内容を保護者に公表し、それらと子どもの様子や成長から、幼稚園教育を評価していただきました。

また、年度初めに掲げた職員の取り組みに対する自己評価の結果に対しての学校評議員による評価もいただきました。

学校評価としての保護者アンケート結果		在籍数96 提出数76 81%			
項 目	はい	少しはい	少しいいえ	いいえ	わからない
お子さんは幼稚園に行くのが楽しそうですか？	65	10	1		
お子さんの力は幼稚園に来てから伸びていると思いますか	72	4			
お子さんは園での生活で友だちができましたか？	69	3		4	
幼稚園でどんな行事や活動に取り組んでいるか知っていますか？	70	4	2		
園と協力して子どもの成長を見守っていますか？	69	7			
家族の間で気持ちの良い挨拶ができていますか？	67	8	1		
幼稚園で気持ちの良い挨拶ができていますか？	56	17	2	1	
幼稚園での生活を面白かった、楽しかったと話しますか？	63	12	1		
クラス便りや、園の掲示物等で園の様子がわかりますか？	63	13			
園の保護者への連絡や連携は適切だと思いますか？	62	14			
園は教育方針や指導内容について保護者に理解できるように伝えてい ますか？	66	10			無回答 1
園の教育方針や指導等に満足していますか？	67	9			
園は子どもたちの安全な生活を守る取り組みができていますか？	68	8			
園の行事や参観等にはよく参加していますか？	72	4			
この園を選んでよかったと思いますか？	72	4			

令和5度 学校関係者(評議員)評価シート

評価項目	取り組み内容	評価	取り組み状況	関係者評価	
1	目 教 育の 方 針 理 解・ 解 説	園の教育方針や目標を理解し、共感している。	A	・全職員が園の方針や目標を理解するよう取り組んでいる。。また、毎月の学年目標を基に保育のねらいを検討している	A
		園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	・園の教育方針等について教職員間での話し合いの機会を充実させ共通理解を深める。	A
2	指 導 計 画 評 価 作 成	園の教育・保育のねらいや内容を保護者に分かりやすく伝える。	A	・日常のコミュニケーションや保育参観、個人懇談会、分かち合い通信、ホームページを通して保育のねらいや内容を伝えている。	A
		指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成する。	B	・教職員による話し合いを通して、幼児期にふさわしい指導計画をきめ細かく作成し、幼児の活動に沿った柔軟な指導を行っている。	A
3	教 育 環 境 の 構 成	幼児が様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整える。	A	・保育の中で自分の思いを表現できるよう音楽に触れ、歌や合奏、リズムなどの面で充実させるよう取り組んでいる。 ・子どもたちが自ら表現し楽しみながら体を動かし、表現する楽しさを味わえるよう援助のしかたを工夫している。	A
		異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をする	A	・自由あそびや園外保育を通じて学年関係なく関わり合うことができたり、年長児が年下の子どもを思いやる言動が見られる。	A
4	と り と り の 理 解 と 理 解	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努める。	A	・補助教諭の配置の仕方を工夫し、子どもたち一人ひとりと丁寧に関わる体制作りを整えている。 ・子どもたちの様子を注意深く観察し、様子の違いや顔色などの変化に注意したり、話を聞いたり代弁したりするよう努めている。	A
5	指 導 と 関 係	一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながら関わる。	A		A
6	教 職 員 同 士 の 協 力 ・ 連 携	幼児のことについて常に教職員間で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有する。	A	・毎日の保育終了後にその日の子どもの関わりや様子について教職員間で話し合っている。 ・職員会議等でクラスの状況や子どもの様子を伝え配慮点や連絡事項を伝え合っている。	A
		指導上配慮を必要とする幼児については、教職員全体で特によく話し合い、保護者支援と共に共通理解を持って対応する。	A	・教職員一人ひとりの考えや意見を発表し合う機会を設けるなど、学年を超えた情報共有の場を充実させている。 ・指導上配慮を要する幼児については個人相談実施記録を基に、教職員が共通理解を持ちながら対応できるようにする。	A
7	研 修 取 り 組 み 研 究 へ の	子どもへの関わりや指導助言の仕方について研修・研究を行う。	A	・教職員が園内外の研修・研究会に参加し。知識や技術の向上に努めている。 ・研修・研究会で学んだ知識や情報を園全体で共有出来るようレポートにして回覧し、意見交換をしている。 ・他の教職員の保育を見て学び合う機会を設ける。	A
		アレルギー、自立の遅れなど、最近見られる問題について理解するよう努める。	A		A
8	安 全 へ の 配 慮	危険が予測される場合はその場で幼児たちと一緒に見たり考えたりしながら安全な遊び方や使い方について気付くことができるようにする。	B	・遊具で起こりうる危険性、排泄場の正しい使い方などをクラス全体で話し合い、一人ひとりが意識できるよう取り組んでいる。	B
		トイレの清掃や使い方について配慮し、幼児にも使いやすくて正しい仕方を具体的に示す。	A	・鉄棒や滑り台等の遊具での遊び方や、廊下や階段での約束について絵本や紙芝居を使い子どもに分かりやすく伝えている。	A
9	安 全 管 理 体 制 の 整 備	緊急時(事故やけが、感染症の発生時など)の対応や手順について理解する。	A	・危険が伴う遊具には職員が付き添う体制を取り安全に努めている。 ・事故を未然に防ぐために危険箇所や危険な行動を発見したときは教職員で話し合い、クラス毎に幼児に指導するよう努めている。 ・緊急時の対応についての知識を深め定期的に確認し合っている。	B
		事故発生を未然に防ぐためにアレルギー、個人情報、投薬法の他、避難体制、情報管理等の手順を教職員で話し合い、共通理解の上周知する。	A		A
10	情 報 の 発 信 と	保育中のけがや病気は、速やかに保護者に連絡し状況や原因を説明の上通院する等の対処をする。	A	・子どもの些細な体調変化にも保護者との連携を密にし、家での様子や園の様子を伝え合っている。	A
		クラスだよりや分かち合い通信を通じ、クラスの様子や園の様子を知らせ、保護者からの思いも知らせてもらう。	A	・普段の園での様子や教育内容をホームページで「今日のようちえん」として発信し、更に1週間ごとにプリントアウトし、全家庭へ配布している。	B
11	守 秘 義 務 の 遵 守	園児、保護者、家族の情報は口外しない。	A	・保護者、利用者の情報はきちんと管理し、情報漏洩のないよう徹底している。	A
12	地 域 と の 関 係	地域の人々と親しく挨拶や会話を交わす。	A	園外保育・環境美化事業等の際は交通ルールやマナーを守り、地域の方々々に元氣よく挨拶するよう心がけている。 ・花いっぱい運動を通じ地域環境の美化整備に心がけている。 ・エンゼル教室、園開放、バザー等で、自由に幼稚園の施設に出入りできるようにしている。	A

【評価の基準】 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組んでいるが成果が十分でない D 不十分である。

